

# 登呂エリアにおける歴史・文化資源の活用方策の検討状況（概略版）

## 訪れた人が楽しむ

- ア **非日常的な空間の演出（景観整備）**  
観光客が期待する日常から切り離された弥生時代の農村を感じることができる空間演出（**アプローチ経路改修**、**植栽の追加**（周縁・広場）、**全面水田化**）に取り組めます。
- イ **特別感ある体験**  
空間演出により高まった遺跡・美術館の特別感を活かした体験（遺跡キャンドルナイト・美術館ナイトミュージアム等）を提供します。
- ウ **人が集まり楽しめる空間** **サードプレイス**
- エ **広場を芝生化** イベントに民間事業者を呼び込むため、利用条件を明らかにし、イベントを試行して会場としての認知度を高めます。

## 市外からの誘客を図る

- ア B **SNS の活用**  
若い世代やインバウンド客が情報源として重視する SNS で、エリアの魅力を発信し、情報拡散を促します。
- ア A **周遊観光ルート**  
歴史文化施設を想定した、歴史文化観光の周遊観光ルートとして定着へ向けた取組を行います。

## 地域に対する愛着を育む

- ア **学校連携（シビックプライドの醸成）**  
アウトリーチ活動を含め学校と連携したプログラムで、エリア施設の価値を若い世代に再認識してもらい、価値を風化させないことでシビックプライドの醸成に取り組めます。
- イ・ウ  
博物館・美術館は、それぞれのコンセプトに基づき、幅広い年齢層を対象とした事業の開発に努め、参加者がその事業の中で知識を深め、地域の誇りを感じていく施設を目指します。

## 登呂エリアの活用方策 工程表 R1～R12

答申項目	短期計画		中期計画		R4の成果目標	長期計画
	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)		R5～R12 (2023～2030)
訪れた人が楽しむ	ア 景観演出 ・植栽 ・水田耕作 ・アプローチ	計画検討	植栽追加		植栽追加完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登呂博物館入館者数 18.8万人/年</li> <li>・芹沢銈介美術館入館者数 1.9万人/年</li> <li>・景観整備後の、更なる非日常空間の演出。</li> <li>・民間が参入しやすい手続き等の条件整備による、民間参入の増加と定着化を目指す。</li> <li>・歴史施設を起点とした観光ルートの定着化。</li> <li>・価値を学ぶプログラムを、幅広い年齢層へ拡大。</li> </ul>
		計画検討	水路西側耕作	水路東側耕作	全面水田化	
		計画検討		改修実施	改修完了	
	イ 特別感ある体験	体験メニュー（キャンドルナイト等）の試行	体験メニューの定着化、追加			
	ウ 人が集まり楽しめる空間 ・広場 ・イベント	計画検討	広場芝生化	広場芝生化完了		
大学生主体のイベント実施		民間主催の大きなイベントの再編・誘致				
エ サードプレイスとしての空間づくり	計画検討	民間キッチンカーの導入・屋上テラス席設置検討				
市外からの誘客	ア 価値訴求力へ B SNS の活用 A 周遊観光ルート	博物館ツイッター試行	SNSを活用した広報			
		日本平久能山ICの開通	歴史施設を中心に想定した観光ルート搭載			
愛着を育む	ア 学校連携	シビックプライドの醸成	学校連携プログラムの再構成	学校連携の強化		

2030年までに**歴史文化の価値を活かし、観光拠点とすることを目指す姿**で、**地域経済の活性化と市民の愛着を高める。**

- ・弥生時代の農村を感じる**非日常的な景観**・空間を味わえる。
- ・特別な体験により、**新たな客層**が増加する。
- ・エリア周辺にも賑わいが生まれ、カフェや売店などの店舗が出店する。
- ・**民間事業者**によるイベントが開かれ、交流人口が増加する。
- ・市民が遺跡・博物館・美術館の価値を知り、**誇り**に思っている。

登呂遺跡バス停●

登呂博物館●

芹沢銈介●美術館

東名高速道路側道

● 空間演出  
広場の芝生化  
広場を芝生化し景観を高め、イベントにも利用しやすくします。

● 空間演出  
植栽の追加  
遺跡周縁の樹木を増やし、周囲の空間と切り離します。

● 空間演出  
全面水田化  
未利用の南側水田の試験耕作を進め、自然の復元と全面水田化を目指します。

● 空間演出  
期待感を持って来館できる美術館アプローチの整備を行います。

● サードプレイス化  
ベンチ設置、博物館屋上テラス席設置など憩いの場の創出を検討します。

● 空間演出  
アプローチ経路  
駐車場から博物館、美術館へ高揚感を保ち来場できるように再整備します。